

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	161,420	163,660
固定資産	113,571	115,311
① 資産合計	274,991	278,972
流動負債	63,167	66,119
固定負債	19,746	20,554
② 負債合計	82,913	86,674
③ 純資産合計	192,078	192,298
負債純資産合計	274,991	278,972

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
④ 売上高	111,486	118,765
売上総利益	26,662	28,456
販売費及び 一般管理費	20,337	21,508
⑤ 営業利益	6,324	6,948
経常利益	6,204	6,490
税金等調整前 四半期純利益	6,234	6,490
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,159	4,542
四半期包括利益	2,526	2,342

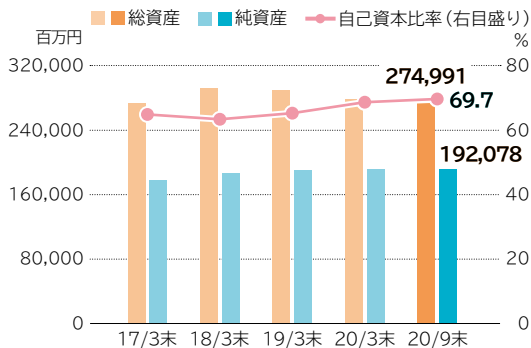
□ポイント!

- ① 資産合計** 現金及び預金、たな卸資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金、のれんが減少したことなどにより、総資産は39億80百万円減少しました。
- ② 負債合計** 支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、負債は37億60百万円減少しました。
- ③ 純資産合計** 利益剰余金が増加しましたが、為替換算調整勘定が減少したことなどにより、純資産は2億20百万円減少しました。
- ④ 売上高** アドバンストマテリアルズ事業部門は増加しましたが、そのほかの事業部門が新型コロナウイルスの感染拡大による需要低迷を受けて減少したことなどにより、売上高は72億79百万円減少しました。
- ⑤ 営業利益** アドバンストマテリアルズ事業部門の増収効果やパルプ・石化原材料価格の下落などがありましたが、そのほかの事業部門の販売数量の減少などにより、営業利益は6億23百万円減少しました。
- ⑥ 親会社株主に帰属する四半期純利益** 営業利益の減少などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億82百万円減少しました。

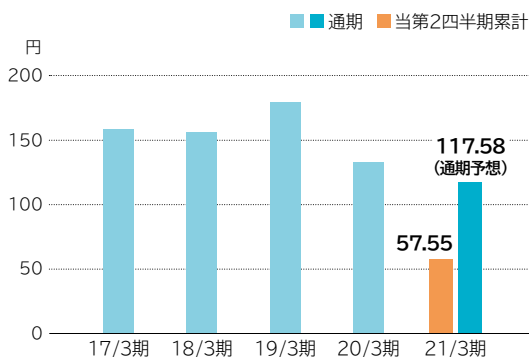
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	13,775	4,774
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,869	△5,804
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,677	△5,075
現金及び現金同等物の 四半期末残高	57,845	51,391

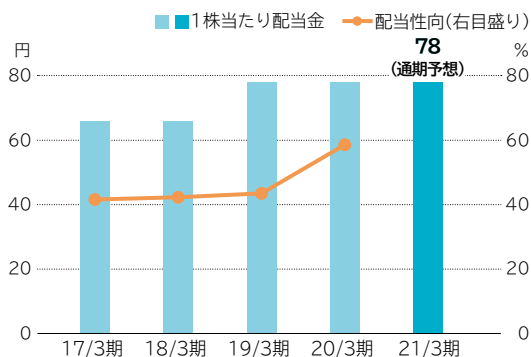
総資産・純資産・自己資本比率



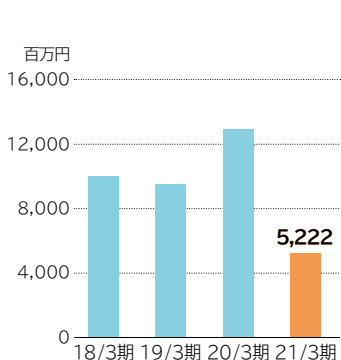
1株当たり四半期(当期)純利益



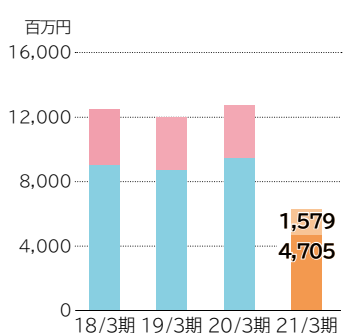
1株当たり配当金・配当性向



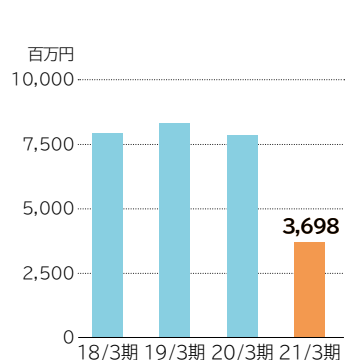
設備投資額



減価償却費 のれん償却額



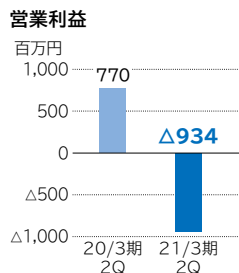
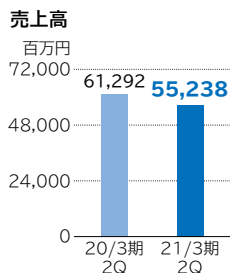
研究開発費



印刷材・産業工材関連

売上高 **552億38百万円** (9.9%減)

営業利益 **△9億34百万円** (ー)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

印刷・情報材事業部門 売上高 **410億29百万円** (6.6%減)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム

シール・ラベル用粘着製品は、国内では医療・医薬関連の需要は堅調だったものの、自動車や化粧品関連を中心にさまざまな分野でラベル需要が低調に推移しました。海外においては、米国では前年同期並みとなりましたが、中国やアセアン地域は低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



産業工材事業部門 売上高 **142億8百万円** (18.3%減)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 内装用化粧フィルム
- 屋外看板・広告用フィルム

国内外において、自動車の生産台数減少の影響などにより、二輪を含む自動車用粘着製品やウィンドーフィルムが大幅に減少したほか、各種イベントの中止などに伴って装飾関連フィルムの需要が低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



※ セグメント別の営業利益は、セグメント間取引消去前の数値に基づいています。

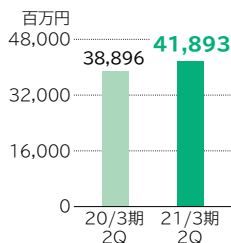
※ ()内は前年同期比

電子・光学関連

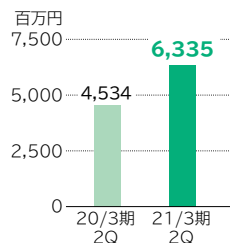
売上高 **418億93**百万円 (7.7%増)

営業利益 **63億35**百万円 (39.7%増)

売上高



営業利益



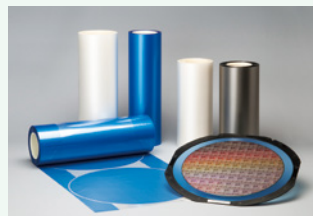
当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

アドバンスマテリアルズ事業部門 売上高 **262億68**百万円 (25.0%増)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ

5G関連やテレワークによるパソコンなどの需要増加により、半導体関連粘着テープおよび関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープともに好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



オプティカル材事業部門 売上高 **156億24**百万円 (12.7%減)

主要製品

- 偏光・位相差フィルム／粘着加工
- 偏光フィルム／表面加工

光学ディスプレイ関連粘着製品は、大型テレビ用およびスマートフォン用などの中小型向けともに需要低迷の影響を受けて低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。

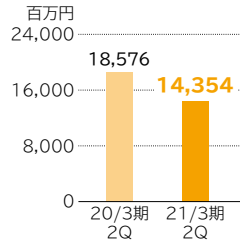


洋紙・加工材関連

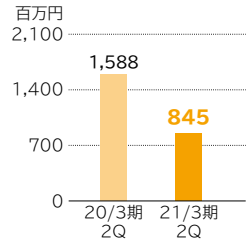
売上高 **143億54** 百万円 (22.7%減)

営業利益 **8億45** 百万円 (46.8%減)

売上高



営業利益



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

洋紙事業部門 売上高 **69億69** 百万円 (18.1%減)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 高級紙製品用紙

封筒用紙はテレワークにより需要が低迷し、色画用紙は休園・休校による影響を受けて低調に推移しました。また、ファストフード向けの耐油耐水紙も低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



加工材事業部門 売上高 **73億85** 百万円 (26.7%減)

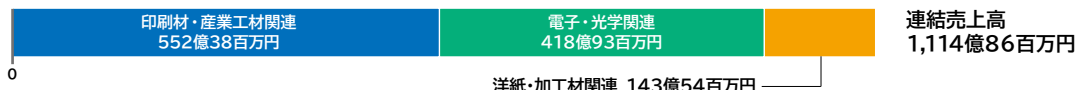
主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

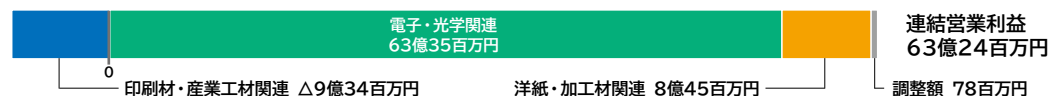
航空機用途などの炭素繊維複合材料用工程紙、シューズや自動車用の合成皮革用工程紙が需要低迷の影響を受けて大きく落ち込みました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



売上高構成



営業利益構成



株式情報 (2020年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式4,338,782株を除く)	72,291,958株
単元株式数	100株
株主数	6,147人

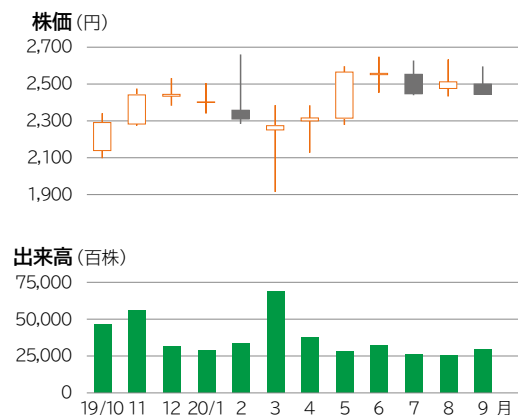
大株主の状況 (上位10人)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,737	30.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,366	6.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,353	6.02
全国共済農業協同組合連合会	2,625	3.63
庄司 たみ江	1,796	2.48
塩飽 恵以子	1,543	2.13
株式会社かんぼ生命保険	1,480	2.04
リンテック従業員持株会	1,051	1.45
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	989	1.36
JP MORGAN CHASE BANK 385781	926	1.28

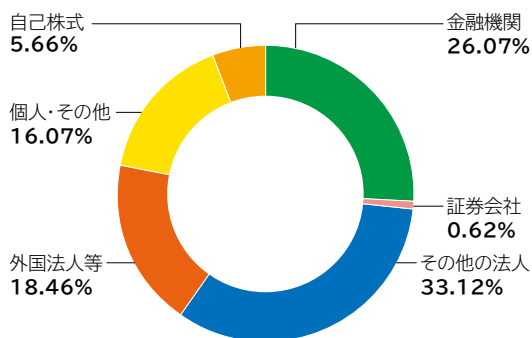
注1. 当社は自己株式4,338,782株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2019年10月~2020年9月)



所有者別分布比率



会社概要 (2020年9月30日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	232億8,531万5,161円
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 4,948人 単体: 2,584人 (2020年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所: ハノイ(ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 38社

株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	www.tr.mufg.jp/daikou

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

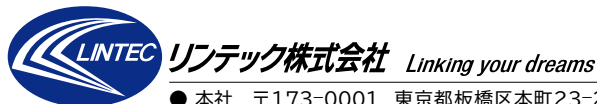
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

法定公告掲載ホームページアドレス

www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウエーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。

IRメール配信サービスのお知らせ



当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、下記の当社株主・投資家情報サイトよりご登録をお願いいたします。

www.lintec.co.jp/ir



※スマートフォンなどで上記の二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

発行 広報・IR室 2020年12月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。